

先生各位

No. 22-15  
2022年2月

## 検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
このたび下記検査項目につきまして検査受託中止のご案内申し上げます。  
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白

### 記

● 受託中止日 2022年4月1日（金）受付分より

● 受託中止項目

案内書掲載頁	項目コード	項目名	中止理由
84	1082	HBs抗原（定性）	検査内容見直しのため 詳細は裏面を参照してください。
	1083	HBs抗体（半定量）	

代替項目といたしまして、より検出感度の高いCLIA法を推奨させていただきます。  
下記のHBs抗原（項目コード：2291）、HBs抗体（項目コード：2292）をご依頼ください。

案内書掲載頁	項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値
84	2291	HBs抗原	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	88 (免疫)	CLIA法	0.05未満(IU/mL)
	2292	HBs抗体	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	88 (免疫)	CLIA法	10.0未満(mIU/mL)

裏面に続く

B型肝炎ウイルス（HBV）の感染スクリーニング検査やB型肝炎の治療経過観察には、より感度の高い検査が求められています。

- B型肝炎治療ガイドライン（第3.4版）において、HBV再活性化のリスクを有する免疫抑制・化学療法を施行する前に行うHBV感染スクリーニングは、**CLIA法やCLEIA法など高感度の測定系を用いることが推奨されています。**（HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体）
- HBVワクチンの効果を確認するためには、CLIA法などの高感度の測定系によりHBs抗体を測定して、免疫獲得を判断します。
- HBs抗原検査試薬の添付文書には、【重要な基本的注意】として以下の記載があります。

#### 【重要な基本的注意】

B型肝炎ウイルス（HBV）感染の診断は、他の免疫測定法等と同じく、本製品による陽性又は陰性の検査結果のみにより行わず、HBc抗体測定、HBV-DNA定量検査等、他の検査結果及び臨床経過を考慮して総合的に判断すること。特に下記の場合は使用方法に留意すること。

#### 1. 健康診断時のスクリーニング検査

できるだけ検出感度の高いEIA法/化学発光法等を用いた検出試薬を使用し、イムノクロマト法や凝集法で検出感度の低い検出試薬の使用にあたっては、十分に留意すること。

#### 2. 緊急検査

緊急対応として実施される迅速・簡便な検出試薬において、陰性と判定された場合でも、必要に応じてさらに検出感度の高い検出試薬で再検査することを推奨する。

#### 3. B型肝炎と診断された患者の経過観察検査

EIA法/化学発光法、凝集法、イムノクロマト法等いずれの方法を用いた検出試薬でも使用できるが、陰性化した場合はより検出感度の高い検査方法で確認することを推奨する。